

2011年11月18日 教授会
 2011年11月10日 連絡協議会
 2011年11月8日 教務委員会

乙第23号証

2012年度 時間割編成基準 一授業科目配置のガイドライン
 <<経営学部>>

1. 基本事項

- (1) 編成の便宜上、各科目の主たる対象学生は、その最小配当年次生とする。(例:2~4年配当科目は2年生)
- (2) 履修上の必修科目、あるいはそれに準ずる科目(A・B区分科目)を主要科目と見做し、優先的に配置する。
- (3) 主要科目の重複配置は避ける。
- (4) 非主要科目は、履修上の同一カテゴリに属する科目の重複配置を避ける。
- (5) 全学共通科目の必修科目である外国語(語学)は、多くの履修パターンが考えられるため、配置時限帯を指定する(語学アワー)。各年次の科目は、この語学アワーを避けて配置する。
- (6) 演習科目は、使用が想定される教室数に限りがあるため、配置時限帯を指定する(演習アワー)。各年次の科目は、この演習アワーを避けて配置する。
- (7) (3)~(6)は、科目が複数クラス開講されており、学生の履修機会を確保できる場合はその限りではない。
- (8) 夜間(月~金6~7時限、土4~7時限)は、配置科目数に偏りがないよう、全時限にバランスよく配置する。
- (9) 週2コマ開講科目の配置は、予復習時間などを考慮し1週のうちにバランスのとれた配置を心がける。また、当科目は、科目間の重複配置リスクが高いため、以下の組み合わせパターンをガイドラインとして記す。
 教育上あるいは科目担当上の必然性がある場合はこの限りではない。

①月・水パターン		②火・木パターン		③金・土パターン	
A	月1・水3	A	火1・木3	A	金1・土3
B	月2・水4	B	火2・木4	B	金2・土4
C	月3・水5	C	火3・木5	C	金3・土5
D	月3・水1	D	火3・木1	D	金3・土1
E	月4・水2	E	火4・木2	E	金4・土2
F	月5・水3	F	火5・木3	F	金5・土3

2. 各年次配当科目

(1) 1年次配当科目

- ① 語学アワーを月~土の3・4時限に設定する。
- ② 学科基礎科目は、①を鑑み1・2時限に配置する。(履修割当を行わない「キャリア設計」を除く)
- ③ ビジネス法学科の(A)民法入門、コンサルティングコースの(A)科目を、①②と重複しないように配置する。

(2) 2年次配当科目

- ① 語学アワーを月~土の1・2時限に設定する。ただし、多数学生が選択する英語科において、2012年度は受講クラス選択制を採用するため、非主要科目の配置を妨げない。
- ② 演習Ⅰ(秋学期)の演習アワーを、月~木の4時限に設定する。
- ③ 各コースの(A)科目を、①②と重複しないように配置する。
- ④ 各コースの(B)科目は、1. 基本事項(3)を十分に考慮する。

(3) 3年次配当科目

- ① 演習Ⅱ(春学期)・演習Ⅲ(秋学期)の演習アワーを、月~木の3時限に設定する。
- ② ビジネス法学科(A)コーポレートガバナンスを、①と重複しないように配置する。
- ③ 旧カリキュラムにおける各コース(B)科目は、1. 基本事項(3)を十分に考慮する。

(4) 4年次配当科目

- ① 卒業研究(通年)の演習アワーは設定しないが、就職活動の現状も鑑み、6時限を利用することもあり得る。

3. その他

全学共通科目の、心理学入門、社会学入門、政治学入門、法学入門、経済学入門、数学入門、統計学入門を、なるべく低年次に履修できるよう科目配置を心がける。
 他、教室規模・教室数に限りがあるので、積極的に1時限を利用する等、配置のバランスを調整する。

以上